

インターハイ出場おめでとうございます！

県予選を突破し、7月下旬から始まる令和元年度「全国高校総合体育大会（インターハイ）」出場の切符を手に入れた皆さんです。団体では、矢板中央高校サッカー部（2年連続9回目）、個人では、矢板高校相撲部の生田目さん（個人2年連続）・陸上競技部の大島さん（初出場）、矢板東高校陸上競技部の室井さん（初出場）、矢板中央高校ソフトテニス部の鬼塚さん・永田さんペア（初出場）が出場します。団体・個人と合わせて、インターハイ3年連続出場を決めた矢板高校の生田目さんは、「昨年同様、予選リーグを突破し決勝トーナメントへ進みたい。全国ベスト8以上が目標」と最後の夏にかける意気込みを話してくれました。



サッカー部（矢板中央高校）

期間：7月25日（木）～8月1日（木）
会場：沖縄県・金武町陸上競技場・フットボールセンター ほか



相撲（矢板高校）
なばため たつや
生田目 竜也（3年）

期間：7月26日（金）～28日（日）
会場：沖縄県・沖縄県立武道館



陸上競技（矢板高校）
よし
大島 瑤（3年）

期間：8月4日（日）～8日（木）
会場：沖縄県・タピック県総ひやかんスタジアム



陸上競技（矢板東高校）
そうた
室井 颯太（3年）

期間：8月4日（日）～8日（木）
会場：沖縄県・タピック県総ひやかんスタジアム



ソフトテニス（矢板中央高校）
いつせい かつや
鬼塚 一成（1年）・永田 克哉（2年）

期間：7月25日（木）～28日（日）
会場：宮崎県・宮崎市生目の杜運動公園

受賞おめでとうございます

全国市町村教育委員会連合会長から功労者表彰を受けた元教育委員の福田 博光氏が教育長を表敬訪問しました。福田氏は、平成18年10月から平成30年9月までの12年間、教育委員として地方教育行政の振興に貢献したことが認められ、受賞しました。

福田氏は、受賞の感想とこれからの関わりについて「ふるさとの教育振興に関われたことを誇りに思う。市の教育環境のさらなる充実に、陰ながら協力していきたい」と話してくれました。



6/16（日）リズムに合わせて

矢板公民館で、「ドレミファリトミック教室」が開かれ、8組23人の親子が参加しました。この日は、日曜日ということもあり、両親そろって参加された方が多く見られ、床に置かれた輪の中を子どもの手を両親が持ち上げリズムよくジャンプするなど、音楽やリズムに合わせて体を動かし楽しみました。

参加したお父さんは「親子でとても楽しい時間を過ごすことができました。これからも積極的に子どもと触れ合う時間を作っていきたい」と感想を話してくれました。



6/17（月）「TAKIBI」本格始動

扇町にある空き店舗を活用し、地域おこし協力隊員、市内外の有志の手でリノベーションした矢板ふるさと支援センター「TAKIBI」の開所式、および新任の地域おこし協力隊員による活動方針発表会が行われ約50の方が参加しました。「TAKIBI」は、世代を超えて、地域の未来を語り合う新たな場所となることを目指し設置されたものです。地域おこし協力隊員でもある高橋センター長は、「地域の方とのつながりを増やし、協力しながら矢板を盛り上げていきたい」と話してくれました。



6/21（金）日頃の感謝を込めて

生涯学習館前で、矢板中学校生徒会と緑化委員の3人からプランターの寄贈を受けました。このプランターは、緑化委員会が中心となって、職場体験学習などでお世話になっている市内の事業所などに届けているものです。5月には、泉中学校からも同様にプランターの寄贈を受け玄関先に飾られています。緑化委員長の岡崎 心香さんは「お世話になっている方たちに感謝の気持ちを込めて届けている。施設を利用する方たちにもきれいな花を見てもらいたい」と話してくれました。



▲プランターの寄贈を受ける村上教育長
◀5月に泉中学校から寄贈を受けたプランター

7/5（金）事故なく生活できますように

泉小学校で、泉地区交通安全協会主催の交通安全七夕集会が行われました。この行事は、交通安全への知識を深め、推進に取り組むために地域の方たちの支えで長年開催されているものです。子どもたちは、色とりどりの短冊に交通安全への願いと自分の夢などを書き、大きな七夕飾りを正門に立て交通安全を呼び掛けました。児童たちは「今年は雨が降らなくてよかった。『家族が事故なく安全に生活できますように』と願いを込めて飾った」と話してくれました。



7/10（水）「黒」をパンで召し上げ

矢板高校で、生徒が試作した「やいた黒カレー」を使った「やいた黒カレーパン」の試食会が行われました。これは、地域貢献と「やいた黒カレー」の普及率を上げるため、商工会・企業・福祉関係団体・学校が連携して取り組んでいるものです。試作品4品の中から、パン生地に米粉を使った「(仮)やいたの米粉ちゃん」が選ばれ、商品化することに決まりました。製造を行う福祉施設の方は「どの試作品も頑張りやが伝わってくる味。たくさんの方に親しまれるパンになるように気持ちを込めて作ってほしい」と感想を話してくれました。

